

定例教育委員会会議録

(平成31年4月4日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日 時 平成31年4月4日（木）
午後3時00分
場 所 市役所6階 603会議室
署名委員 小平委員、草間職務代理者

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 平成31年度岡谷市教育委員会基本方針について【資料No.1】 (全課)
2. 岡谷市教育委員会表彰について【資料No. 2】 (非公開) (生涯学習課)

○ 報 告

1. 平成31年度教育委員会事務局職員定期人事異動について【資料No.3】 (教育総務課)
2. 教育関係施設の大型連休中の対応について【資料No. 4】 (全課)

○ そ の 他

- ・行事等について (各課)
- ・その他

【次回開催予定】 5月8日（水）定例教育委員会 9時30分 6階 602会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

事務局（説明員）

教育部長 城田 守、教育部教育担当参事 三村 靖夫、教育総務課主任指導主事 竹内 良之、
生涯学習課長 小池 秀昭、スポーツ振興課長 小河原 義友、教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、
教育総務課主幹 小口 明彦、教育総務課主査 保科 圭吾

<会議録>

○開 会

岩本教育長： それでは、平成31年度最初の定例教育委員会、そして、平成最後の定例教育委員会を開催いたします。

本日の署名委員は小平委員さんと草間職務代理者さんをお願いをいたします。最初に私から教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

本日は、3件報告をさせていただきます。

1. 市内小中学校入学式について

今日は、小学校・中学校の入学式がありました。素晴らしい天気恵まれて、それぞれ良い入学式ができたと思っています。教育委員さんにも出席をしていただき、無事に終了することができました。

今年度は、小学校で353人、中学校で453人の子ども達が入学し、在校生も含め、小学校で2,353人、中学校で1,287人、合わせて3,640人の子ども達が夢と希望に胸をふくらませて一学期がスタートいたしました。昨年は、3,713人でしたので、73人の減ということになりますが、新入生だけをみますと昨年よりも増えております。

子ども達が本当に充実した素敵な学校生活を送れるように、教育委員会が一丸となって支援をしていきたいと思っております。教育委員の皆さんにもお力添えをいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2. 平成31年度予算執行方針会議について

教育部全体に関わることについてご報告いたします。

平成31年度のスタートにあたり、昨日4月3日（水）に、予算執行方針会議が開催され、今年度の予算執行にあたり、今井市長から訓示が、小口副市長から指示事項がありました。

今井市長からは、平成31年度は、第5次岡谷市総合計画の初年度であることから、将来都市像である「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて新たな10年間の第1歩を力強く踏み出すための大切な年であること。また、「新たな時代を拓く年」として位置づけ岡谷市の未来を展望し、将来多くの夢と希望を描くことができる確かなまちづくりを進めるために、前例踏襲に陥ることなく見直しと創意工夫にいつそう心掛け、市民の信頼と期待に応える予算執行に努めて欲しいとの訓示がありました。

また、小口副市長からは、組織力を最大限に発揮して一丸となって業務を遂行すること、職員一人ひとりが目指す職員像である「岡谷市に誇りと愛着を持ち、市民から信頼される職員」を目指し、誇りを持って仕事をして欲しいなどの指示事項がありました。

教育委員会としまして、平成31年度は、「第2期岡谷市教育大綱」のスタートの年であるとともに、「魅力と活力ある学校づくり推進プラン」のスタートの年であります。子ども達が将来の岡谷市に夢と希望が描けるように、市長部局と一丸となって施策を推進してまいりたいと考えておりますので、是非、教育委員の皆さんにもお知恵をお借りできたらと思っております。

改めて1年間お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

3. 岡谷市立図書館の新元号特集コーナーについて

生涯学習課から報告いたします。新しい元号の発表を受けて、図書館に「令和」の文字と、万葉集をはじめ関連図書30冊ほどを集めて、特集コーナーを設けました。

来館された方が、さっそく足を止めて万葉集を手にとってみたり、借りていかれる人もいたり、関心の高さがうかがえました。

図書館では、これからも地域における知の拠点として、また情報集積、情報発信の拠点として、積極的な取り組みをしてまいります。

岩本教育長： 教育報告は以上です。この件に関わって何かご質問等ございましたらお願いいたします。
よろしいでしょうか。それでは、本日の議事に移りたいと思います。

○議 題

1. 平成31年度岡谷市教育委員会基本方針について (全課)

岩本教育長： 議題1について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より平成31年度岡谷市教育委員会基本方針、予算、主要事業について説明。＞

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

太田委員： 学力向上についてですが、チーム岡谷による学力向上推進事業の拡充ということで、非常に期待をしております。そのうえで、岡谷市は、しっかり指導ができる学力向上アドバイザーの先生や竹内先生を中心に体制を整備して進めてきていただいているのですが、ここまで実施をしてきて、今後に向けてということも含めて、どんな進展がみえてきているのか、或はそういった芽が出てきているのかを教えてください。

事務局： 学力向上全般ということで、具体的には全国学力・学習状況調査の結果ですとか数的な部分がどうかというところもありますが、その部分では計れないところがある中で、岡谷市で進めております岡谷スタンダードカリキュラムが全市展開をしてかなり広まってきておりますので、これからの学習指導要領の学びと繋がっていくという部分に学力向上アドバイザーと私でこれからもっと手を入れていくということと、基礎基本の定着というところの両輪が欠かせないところです。そちらに関しては、授業づくり、授業改善に尽きると思います。昨年も大小合わせて70回学校訪問をしました。回数ではないですが、質の濃いものにしていて、先生方のニーズにより、新卒や2年目の若い先生の授業改善を行ってきました。今年は、4月の段階で各学校に私とアドバイザーで出向きまして、校長先生と教頭先生の方針や方向性、課題をお聞きして、そこに立ち返ってそこからスタートしていこうと考えております。

草間職務代理者： 今のお話しに関連して、教育委員会から竹内先生や学力向上アドバイザーを派遣した場合、各学校の取り組み方はどうなっているのでしょうか。例えば、学校で委員会を設けて指導していただいた内容を全員の先生方に周知するとか、そういったことはできているのでしょうか。

事務局： 校長会主体の学力向上推進委員会という委員会がありまして、そこに各学校から研究主任の先生に出でいただいております。その委員会の中で全国学力・学習状況調査の検証や分析、授業改善に向けた取り組みなどを行い、研究主任の先生が学校に戻って研修会を行っております。また、教職員研修会や中堅教員研修、新人職員研修等などの研修の場を設けて行っております。

岩本教育長： 研修の体制はかなり充実していると思っております。

小平委員： 感想半分になりますが、以前、竹内先生と学校訪問をご一緒した時に、すごく専門性の高い指導をされていて、子どもへの声掛けから始まって、授業の組み立て方などを指導されていて素晴らしいと感じました。先生方も凄い勉強になっていると感じましたので期待したいと思います。子ども達の必要な力が時代と共に変わっていくと思いますが、この岡谷スタンダードカリキュラムの中に上手く取り入れられていると感じていますので、そこを上手く利用して授業の改革をしてくださるのではないかなと期待しております。

高木委員： 今の話しをお聞きしていると、市内の先生方の実力が上がってきていると感じますが、これから小学校に英語が導入されたり、先生方が新たに学んでいかなければならないことがすごく増えてきて、そういう対応に先生方も大変になってくると思いますので、そういう点で細かなことをお聞きしますが、SOSの出し方に関する教育の授業を担当の先生がするのか、専門の方がしてくださるのかという部分と、資料9ページに「英語支援アドバイザーを派遣し教員の資質向上と不安解消を図る」とありますが、どんなふうに先生方の不安を解消していくのかを具体的に教え

てください。

事務局： SOSの出し方に関する教育は、スクールソーシャルワーカーの弓田先生に市内4中学校で授業をおこなっていただくように考えております。英語支援アドバイザーは、昨年からお願いしているアドバイザーに加え、今年度もう一人お呼びまして、昨年からのお願いしているアドバイザーの方には全体の研修という部分を担っていただいて、今年度からお願いするアドバイザーの方には、実際に授業に入っていただいて先生達が困っている部分を相談しながらアドバイスをしていただくような形を考えております。また、ALTの先生もいるので、ALTと担任とのチームティーチングでやっていきたいと考えております。

岩本教育長： 昨日さっそく岡谷東部中学校に弓田先生に行っていたいて、職員研修としてSOSの出し方に関する教育について色々なお話しをしていただきました。

それから、ALTの方も昨日あいさつにおいでになりましたが、カナダの出身ということで、オリンピックのホストタウンもカナダに決まりましたので、色々な面でプラスになるのではないかと思います。ALTの方のお力をお借りしながら進めてまいりたいと思っております。

藤森委員： あらためて一節に教育という言葉を使っていますが、守備範囲広く学校から生涯学習、スポーツ振興までということで大変だということを感じております。また、今年度も教育に関わる予算をたくさん取っていただいたということで本当に感謝を申し上げます。それぞれに素晴らしい基本方針と計画を立てていただいて、いよいよ実行ということになっていくと思いますが、PDC Aサイクルをしっかりと回していただいて、途中、途中で検証を入れつつ、それに基づいて次のアクションを起こすというような形で、是非生きた教育行政を私共も一緒になって汗をかき、考えてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

岩本教育長： 生涯学習、スポーツ振興に関わって何かご意見等あればお願いします。

太田委員： 生涯学習の重点項目の中で日本遺産「星降る中部高地の縄文世界の活用」ということで、これを取り上げていただいたのは非常に嬉しく思います。あくまでも私見ですけども縄文世界というのは、もしかするとシルク岡谷に続く、それを凌駕するような岡谷とか諏訪とかこの地域のアイデンティティに繋がる可能性がある取り組みだと思いますので、取り組み方によって大きな材料になるのではないのかなと感じております。もちろん生涯学習課のみで取り組んでいただけるようなことではないと思いますけども、こうして意識的に取り組んでいただくことで、将来的にそういったところに繋げていただければと思います。

それから重点項目の2番目「生涯学習に関する情報の積極的、効果的な発信」ですが、先ほど地域にいらっしゃる人材の発見をして、そういう方達のことを知って、その情報を整理してというようなお話しがありました。非常に良いことだと思います。それで、その時に個人個人の人材もそうですが、区であったり区とは別の地域であったり、団体として色々な活動をなさっている方達もいらっしゃるので、そういうところも是非確認をしていただいて、情報として市や生涯学習課にもプールしていただくということができればいいかなと思います。また、新規事業で「男性定年後講座」というのを立ち上げていただいて、行政として新たにこういう取り組みをなさるということも歓迎いたしますが、やはりこういうことは予算を見させていただいても2万4千円というような形だったりして、なかなか市独自でいくつも実施をしていくということは大変ですし、やりきれないので、同じ様な取り組みが岡谷市内であれば、変な言い方をするとバッティングしてしまって、どっちに行ったらいいのかということもありますし、人の取り合いみたいなことになって力が分散してもいけないかなとも思うので、できればそういうところと協力をしながら取り組んでいって、行政はバックアップしていくとか、色々な連携の仕方をしていただくと、より継続的な発展的な活動に繋がっていく可能性がより大きくなると感じますので、是非そんな視野で取り組んでいただければと思います。

高木委員： 先ほども色々なジャンルで垣根を越えて交流するというお話しがあって、とても楽しい事業だなと感じました。特に生涯学習課ですとお力を借りてできることがすごくあるのではないかなと思います。皆さん色々な技を持っていたり、いっぱいアイデアを持っていたりするので、折につけて色々なことを募集して一緒にやってみたいという方達と交流しながら作り上げていければより楽しいのかなと思っています。また、ホームページにも第3次岡谷市子ども読書活動推進計画がアップされていて、とても素晴らしい計画で、市民の方達も行政の熱意を感じてくださ

るのかなと私は感じましたので、すごく期待しています。そのホームページを見た時にマナビィスタッフをクリックしてみたら全然動いていなくて少し悲しかったんですが、先ほど太田委員さんのご意見にもありましたが、地域の人材を活用していくという部分でこのマナビィスタッフをこれから使っていくのか、それとも別のものを構築していく必要があるのか、その辺は検証していかないといけないと思いますが、部活動指導員をお願いするにしてもそういう地域の皆さんの人材バンク、個人だけではなくて団体も含めて何かそういったものがしっかりできると、色々とお願いがしやすくなっていくのかなと感じました。

それからスポーツ振興課ですが、高齢者を対象に市民総合体育館の一部を開放するということで、私ももうじき参加する必要があるのかなと思いながら、気軽に体育館を利用できるということで、本当に嬉しい事業だと思います。

藤 森 委 員： スポーツ振興課の関係で、4つの重点の4番目「スポーツ環境の整備・充実」ということで、施設の長寿命化を進めるということがうたわれていますが、予算的な部分を見ると特に具体的なものは盛られてないように見受けられますが、今年度何か計画されているものはあるのでしょうか。

事 務 局： 今年度については、施設の長寿命化といった取り組みはございませんが、テニスコートのテープがかなり劣化してしまっているんで、その補修を30年度と同様に実施をしていきます。当面の課題としては、プールの屋根と2027年の国体に向けた整備がございますが、国体については、2027年の5年前に国から視察に来て、どういった改修をしていくのかという支持がありますので、それを受けて今後計画的に盛り込んでいきたいと考えております。またプールの関係は、建物自体かなりの年数が経っていますので修繕をしていかなければいけないと思っておりますが、修繕を実施する場合は、個別計画を立てて補助をもらいながら実施していきたいと思っております。

藤 森 委 員： 私も個人的に水泳協会の役員ということで、プールについては少し気になっておりまして、市内の施設の中でも古い建物だと思います。スポーツ振興の中で色々な項目がある中で、先ほどからお話しが出ている高齢者の方のスポーツ機会という意味でも、水中運動というのは陸上運動と違って高齢者の方に対して体に優しい運動の機会になったりすると思います。また、周辺市町村にも屋内水泳施設はあるんですが、岡谷市のプールみたいな競技にも使える施設というのは本当に貴重になってきておりますので、色々な活用方法はあると思います。是非、長寿命化ということで他の施設もそうですが、今後も使っていけるような方法を検討していただければと思っております。

太 田 委 員： おかやスケート振興事業についてですが、私も倉坪選手が活躍したりということがあったので注目しておりましたが、2月の諏訪郡スケート大会に今年もお邪魔をさせていただいて、岡谷市でスケートやっている子ども達は、こんなにいないんだということで正直驚きました。理由としては、色々な状況の中で学校授業で我々が子どもの時のように時間をかけてスケートに取り組むような機会をつくることができないということもあると思いますので、ある意味仕方ないのかなと思いますが、スケートの文化というのはふるさと岡谷のアイデンティティに繋がるような部分もあると思いますので、是非スケート振興に力を入れていただきたいなと思います。

事 務 局： スケート振興については、現在小学校の授業以外に中学校でも合同部活動ということで、昨年度は西部中、北部中、東部中の3校の生徒が活動しております。この間、私も大会を見にいってききましたが、保育園から小学校低学年の子ども達に競技の方に向いてもらうということがすごく大事なと思っておりまして、いくら高学年になってスケートをやってくださいと言っても、既に色々なことに取り組んでしまっているんで難しいのかなと感じております。先日もやまびこスケートの森とも話し合いを持ちましたが、その中でも声掛けというのがすごく大事な感じておりますので、そういったことを考えながら取り組んでいきたいなと思っておりますし、冬のスポーツだから秋から取り組むのではなくて、早め早めに行動を起こしていきたいと思っております。

岩 本 教 育 長： 大変貴重ご意見等をおよせいただきありがとうございます。それでは、特に内容や文言等に修正がなければ、教育委員会としてこれを承認していくということでよろしいでしょうか。

【承 認】

岩本教育長：ありがとうございます。それでは、この内容をホームページ等へ掲載して、市民の皆さんにも承知をしていただきながらしっかりと進めてまいりたいと思います。
続いて議題2に移りたいと思います。

2. 岡谷市教育委員会表彰について（非公開）（生涯学習課）

＜岡谷市教育委員会表彰について事務局より説明し、承認される。＞

○報 告

1. 平成31年度教育委員会事務局職員定期人事異動について（教育総務課）

岩本教育長：報告事項1について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より平成31年度教育委員会事務局職員定期人事異動について説明。＞

岩本教育長：今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。
よろしいでしょうか。それでは、報告事項2へ移ります。

2. 教育関係施設の大型連休中の対応について（全課）

岩本教育長：報告事項2について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より教育関係施設の大型連休中の対応について説明。＞

岩本教育長：それぞれの施設の職員が最大限の努力していただいて、できる限り開館ということで進んできておりますが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

藤森委員：小中学校は、完全閉庁日ということでよろしいでしょうか。

事務局：はい。何かあった時には市役所に連絡を入れていただくということになっております。

高木委員：ほとんどの施設がお休みなく開館をしてくださるということで、市民にとってはとてもありがたいことだと思いますが、通常でもお休みがあるところをお休みがなく職員の方が出てくださるということで、本当に大変だと思いますので、是非ここで勤務した分は必ず後でお休みを取れるようにしていただきたいと思います。

岩本教育長：ありがとうございます。そのつもりでそれぞれの課で対応していただいておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

・その他

岩本教育長：それでは、事務局より次回開催予定についてお願いします。

＜次回開催日の調整＞

岩本教育長：それでは以上をもちまして、4月の定例教育委員会を終了とします。

終了16時25分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和元年5月8日

教 育 長

若本博行

署 名 委 員

草間吉幸

署 名 委 員

小平陽子

調 製 職 員

城田 守